

令和5年3月27日

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会(全体会)

区分	内容
テーマ・事業名	南区まちづくり活動サポート事業 【事業費予算 2,500千円】
事業目的・概要	地域活動団体や企業と連携を図り、多様な資源や新たな視点によるアイデアを活用して、より効果的な協働による事業展開を図るため、南区区ビジョンまちづくり計画に掲げるさまざまな地域課題の解決につながる取り組みを、1事業につき50万円以内(過去に本事業で実施したことのある場合は30万円以内)で募集して事業委託する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>◆昔むか～しの「あったてんがのいばらそね」羽ばたけ茨っこ! 【コミュニティ茨曾根】 地域の昔語りを集めた冊子「あったてんがのいばらそね」から演劇「コンタと光の狐の嫁入り」の台本を作成し、稽古を重ね、10月22日に実施された「茨曾根フェスティバル2022・芸能部門」で発表した。(参加者約250人)</p> <p>◆安兵衛が暮らした名家 長井家家宝講演会 【庄瀬地域コミュニティ協議会】 赤穂浪士四十七士の一人である堀部安兵衛が滞在した南区牛崎の長井家と地域の歴史を探る講演会を11月13日に実施した。平安時代から続くといわれる長井家の家系や「春欄図」に込めた大石内蔵助の真意などについて、長井家の子孫が語った。区主催の「長井家の家宝展」も同時開催した。(参加者110人)</p> <p>◆南区の農産物・食材を活用した心と身体の健全な発育相談 【南区地産地消をすすめる会】 8月26日に糸魚川出身で日本バレーボール協会会長の川合俊一さんを迎え「南区の食材で健康な身体を」と題したトークセッションを実施した。白根高校生や区の農産物生産者も登壇し、地産地消などをテーマに意見を交わした。(参加者約200人)</p> <p>◆学生連携/南区SDGsフルーツハネものを活用した新商品の開発・販売 【南区農泊推進協議会】 日本文理高校の学生と協働し、南区の形や色合いなどが悪く商品にならない果物(モモ、ブドウ、プラム、ルレクチエ)を原料として、せっけんを作った。廃棄されることもあるハネものを有効に活用することで、SDGsにも貢献できた。委嘱状</p> <p>◆笹川邸 こども学芸員【味方地区コミュニティ協議会】 地域の宝「笹川邸」の歴史的背景や建物としての素晴らしさを広く伝えるため、小・中学生が調べ・考え・学びながら、味方応援マップや笹川邸内の案内看板、笹川邸のDVDを作成した。</p> <p>◆月潟における文化資源のコンテンツ化と活用 【月面構想】 6月27日と9月25日に月潟地域のお祭り開催に合わせ、イベント「つきのまちシアター」を実施した。かつての映画館「月潟劇場」で当時の用具の展示、映像の投影、光のプログラムによるアート展示のほか、映画を上映し、これに向けた映画鑑賞ワークショップやアフタートークを行った。(参加者142人)</p> <p>◆写真と映画で語る白根大風合戦と商店街 【株式会社 新潟管財企画】 昨年度と同様に、白根今昔写真展「白根大風合戦と商店街の今昔」、白根今昔クイズ「この写真、今はどこ?」、ドキュメンタリー映画「白根紙鳶見聞録 風ノ国」の上映を行った。(参加者約1,577人)</p>
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>○ 採択されたそれぞれの団体が、地域の魅力を最大限に発信し、南区の活性化につながる個性あふれる事業を展開していた。</p> <p>○ 区内外のさまざまな地域活動団体や企業が事業に取り組み、自治協議会のPRにつながるるとともに、応募団体の活性化にも寄与することができた。</p>